

科目名	情報 A	学 年	1 年	コース		単位数	2	担当者	
-----	------	-----	-----	-----	--	-----	---	-----	--

1 目 標

日常的な学習課題を題材とした情報の収集・処理・発信などの実習を通して、情報を活用する実践力を身につけるとともに、実際の活動の具体例などに基づいて、コンピュータの特性やインターネットの仕組みなどについての基礎的な知識を理解する。

2 到達目標

生活の中で様々な問題を解決するとき、コンピュータやインターネットを適切に活用することが有効であることを学ぶ。

音声、画像、動画などの多様な形態の情報をコンピュータを使って効果的にまとめることができるようにする

情報の収集発信には様々な問題があることを知り、情報社会に参加するときの適切な行動・態度を実践を通して身につける。

3 成績評価の方法

提出物、レポート、授業への出席状況や授業態度、定期考査を総合的に評価する。

特に提出物に重きをおく

4 学習者へのメッセージ

情報を活用する実践力を養うために、実習に重きを置いた学習活動で、そう授業時数 1 / 2 程度は実習です。積極的に学習に取り組むことが大切です。

コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用経験が浅い生徒でも十分履修できます。

実習の内容は ア) インターネットや表計算ソフトによる情報の収集・分析

イ) プレゼンテーションソフトによる情報伝達

ウ) 情報の収集、電子メールの発信

エ) マルチメディア作品の制作実習

などを予定しています。

技術の発展に左右されない基本的な考え方や方法を習得します。

総合的な学習 (P-Time) と連携を持って進めていきたいと思っています。

5 使用教材

教科書「 情 報 A 」(実況出版)

6 自己評価

1 年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。

到達目標 [] [] []

課 題

A : 十分、達成できた。 B : だいたい達成できた。 C : 努力が不足した。

7 年間授業計画

月	単元（章，節など）	重点目標
4 ～ 5	情報の活用 情報の伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおける具体的な問題を解決する方法を知る。 ・プレゼンテーションの工夫ができるようにする
6 ～ 7	情報の検索と収集 情報の受発信と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の効率的な検索方法について知る。 ・受発信に適した情報の表し方について知る。
1 学 期 期 末 考 査		
9 ～ 10 ～	ネットワーク利用の心構え 情報の統合	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性・信憑性について考える。 ・個人情報の保護・知的所有権の理解をする。 ・セキュリティの必要性・ネチケットの理解。 ・情報機器を利用しての情報収集活動
11 ～ 12	マルチメディア作品の制作	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア作品の制作実習・発表を行う
2 学 期 期 末 考 査		
1 ～ 3	メディアの発達と仕組み I T が開く 2 1 世紀	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの情報技術が生活に及ぼす影響について考える ・情報技術の活用能力を高めることの必要性を知る
学 年 末 考 査		